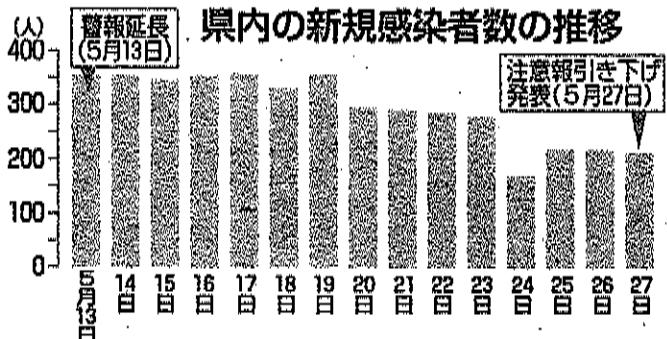


県コロナ注意報に緩和

30日から無料抗原検査は継続

注意報引下り
発表(5月27日)



福井県は27日、発令中の新型コロナウイルス感染拡大警報を30日から注意報に引き下りると発表した。期間は6月12日まで。緊急などでの無料抗原検査は同日まで延長する。県内の新規感染者数は高止まりしているものの、県対策チームの担当者は病床使用率が抑えられている状況などを挙げ、「感染拡大の局面ではなく、医療への負荷も少ない」と説明した。

【29回に】関連記事
県はオミクロン株による人に絞り、高齢者など重

感染拡大を受け、今年1月10日に注意報を出し、その後、警報や特別警報に引き上げていた。27日発表の新規感染者数は216人と3日連続で200人を上回ったが、病床使用率は12・5%

にとどまっている。県の担当者は年度末や大型連休のような「大きな人の移動が当面ない」ととも引き下げの理由に挙げた。

県は5月中旬から濃厚接触者の行政検査を症状がある人に絞り、高齢者など重

症化リスクの高い人の検査を優先する方針に転換。県健康福祉部の宮下裕文副部長は、「コロナの外来治療を実施する医療機関が約150カ所に増えている点も踏まえ、「重症化予防へのシフトは全国的な流れで、このよつて体制構築でコロナとの共生に近づいていくのではないか」と述べた。

今後のマスクの着用基準は、屋外などで緩和した国の方針を原則とし、会話時の着用を促す「おはなし」はマスクの呼びかけを継続する。また、これまで同居家族が検査を受けた場合に結果判明まで出勤や登校を控えるよう呼びかけていたが、30日以降は体調管理の徹底を求め形に緩和する。(高島健)